

ハンズオン特別セミナー(ISEM 西日本 於：熊本)

2015年10月1日

かねてより ISEM 西日本は、文部科学省 高度医療人養成プログラム（主任；熊本大学医学部、猪俣教授）とジョイントし、京都大学でこれまで4回のセミナーを行ってきた。今回、第51回日本移植学会総会（学会会長：猪俣教授）が熊本で行われたが、その折に ISEM 西日本（支部長：京大・上本教授、事務局・八木先生）とのジョイントで「生体肝移植時の肝動脈吻合」をシナリオとしてハンズオンセミナーを実施した。

本企画は、慶応大学小林教授がサンアロー株式会社と研究開発している“生体質感人工血管”を使って行われた。事前登録した全国から集まった外科医30名が、事前に配布されたCDを見ながら吻合のコツの講義を受けた。



また、村中医療器株式会社の協力で卓上顕微鏡、株式会社クラウンジュン・コウノの9-0縫合糸が準備され、限られた時間内で吻合するトレーニングが行われた。



きわめて限られた時間で行われたが、学会参加者の外科医の皆さんと、充実した時間が得られた。ハンズオン参加者の血管縫合技術は、施行した人工血管を京都大学でブラインド・チェックの上、適正に評価され参加者に後日知らされる。また30名の参加者の最高点をマークしたのものには、上本 ISEM 西日本支部長と小林 ISEM 教育委員から、賞品と賞状が授与されることがアナウンスされた。

